

平成25年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	訪問型保育委託	重点評価区分	重点	担当部	子育て支援部
				担当課	子育て支援課

基本情報

1 事務事業の概要

開始年度	平成18年度	根拠法令	葛飾区私立保育園訪問型保育事業実施要綱
性質区分	サービス提供	実施形態	民間事業者との協働
対象者	区内在住で、0歳から就学前までのお子さん		
裁量区分	あり		
実施内容 (事務事業の実施内容、手段、過去の改善実績等)	<p>【概要】 (訪問型病後児保育) 対象児童が病気回復期にあつて、集団保育が困難な時期に自宅等に保育士等が訪問して保育を実施する。 (訪問型一時保育) 対象児童の保護者が疾病や入院しなければならなくなったとき、同居の家族が入院してその介護・看護をしなければならなくなったとき、産前産後で保護者の安静が必要なとき等、一定の要件に該当する理由で一時的に保育が必要となった場合に自宅等に保育士等が訪問して保育を実施する。</p> <p>【活動内容】 ①実施日 月～金（祝日、年末年始除く。） ②利用時間 午前7時30分～午後6時 ③利用料 1人1時間800円（児童の食事等は、原則として利用者が用意する。） ④実施園 1園 ⑤その他 事前の利用登録が必要</p>		

2 施策及び事務事業目的

施策番号	施策	0603	仕事と子育てを両立しやすい環境を整えます
事務事業目的	保育園児等で病気回復期にあるが集団保育になじまない児童、保護者の病気等により緊急一時的に保育に欠ける児童の自宅等に保育士等が出向き、児童を保育することにより子育てと仕事の両立を図るとともに、児童の健全育成に資する。		

実績情報

1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
訪問延回数	—	回	目標	48	48	48
			実績	21	32	97
登録児童数	—	人	目標	—	—	—
			実績	31	52	39

2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
広報による制度周知	広報かつしか掲載回数	回	目標	—	—	—
			実績	1	1	2
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	24年度	
収入	特定財源			
	国庫支出金	千円	0	
	都道府県支出金	千円	0	
	その他	千円	0	
	一般財源 (a)	千円	1,076	
支出	直接事業費 (b)	千円	286	
	委託料	千円	286	
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		千円		
		職員人件費 (c)	千円	790
		人件費	千円	790
		人	0.10	
	再雇用職員	千円	0	
		人	0	
	間接費 (d)	千円	0	
	調整額 (e)	千円	80	
	減価償却費	千円	0	
	金利	千円	0	
	退職給与引当	千円	80	
	(控) コスト対象外	千円	0	
	トータルコスト (f) (b+c+d+e)	千円	1,156	

4 単位あたりコスト

項目	単位	24年度
単位の定義		サービス提供回数（訪問延回数）
実績数値 (g)	回	97
単位あたり区単コスト (a/g)	円	11,093
単位あたりコスト (f/g)	円	11,918

平成25年度事務事業評価表（重点評価）

事務事業名	訪問型保育委託	担当部	子育て支援部
		担当課	子育て支援課

過年度の実績状況の評価と今後の方向性

実績状況の評価	訪問延回数：平成22年度21回 平成23年度32回 平成24年度97回 登録児童数：平成22年度31人 平成23年度52人 平成24年度39人 平成24年度から、それ以前の相談会（及びそれに伴う広報掲載）に加え、制度自体の周知広報掲載を行った。 その効果か、登録児童数は減少したが、訪問延回数は前年度に比べ約3倍増加した。		
今後の方向性	改善	現在、委託事業者とは単価契約を締結している。 【契約金額】 一般世帯 訪問料1回905円＋時間単価第1子 500円・第2子以降 800円 免除世帯 訪問料1回905円＋時間単価第1子1,300円・第2子以降1,300円 減額世帯 訪問料1回905円＋時間単価第1子 900円・第2子以降1,050円 そのため、利用回数及び時間により委託料が変動する。 しかし、緊急かつやむを得ない事由がある場合は、利用当日でも利用申請をすることができるため、事業を行うためには、常に看護師や保育士等の資格を有する者が対応できる態勢を整えておく必要がある。 そのため、現状の訪問延回数では、委託料と事業者側の人件費等の経費との比較から、事業の存続自体難しい状況にあるため、今後広報による制度周知など更なる利用者増加策を講じる一方、契約方法自体の検討も行う必要がある。	
	継続		

「今後の方向性」に基づく取組内容

1 今後の成果指標の目標値

成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	25年度	26年度	27年度
			目標			
			目標			

2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

活動目標	視点	活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度
				目標			
				目標			
				目標			
				目標			

行政評価委員会の意見や予算編成等の結果を踏まえ、年度末に記載し、区民に公表します。



葛飾区 病児・病後児保育、休日保育のご案内

葛飾区では、子育てとお仕事の両立を応援しています。お子さんが病気
のとき、休日にお仕事があるときなどに、ご利用ください。

びょうじ びょうごしほいく ♥♥病児・病後児保育♥♥

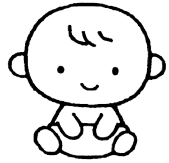


病期中

っらいよ～

病児保育

病氣中で病状が安定しているお子さんを医
師、看護師、保育士が協力して保育します。



回復期

だんだん、良くな
ってきたよ

病後児保育

病氣の回復期のお子さんを看護師や保育
士が協力して保育します。



回復

元気に
なったよ!

* 事前に登録をお願いします。利用は予約制です。

* 病後児保育：医師からの診療情報提供書が必要になります。

* 病児保育：かかりつけ医に診療情報提供書を記入してもらったときは、施設に提出してください。

☆☆休日保育☆☆

再来週の日曜日に、
仕事が入ったの



就労や病気などのため、日曜日・祝日にお子さんの
面倒がみられないとき、保育園でお子さんを保育し
ます。

そうか・・・僕も出張の
予定があるしなあ

* 事前に登録をお願いします。利用は予約制です。

～詳しくは裏面に記載している各施設にお問い合わせください～

★★病児・病後児・休日保育を実施している施設はこちらです★★

《病児保育⑩》 《保育所での病後児保育①②④⑤⑥⑦⑨》 《訪問型病後児保育⑧》 《休日保育①③④⑤⑥⑦⑨》

- ① 小合保育園 (病後児・休日)
南水元3-3-11
病: 3627-8488
休: 3608-1221
- ② 砂原保育園 (病後児)
西亀有4-8-19
3605-0770
- ③ 新宿保育園 (休日)
新宿4-4-16
3607-2470
- ④ 住吉保育園 (病後児・休日)
高砂7-26-3
病: 3607-1612
休: 3607-1561
- ⑤ 小谷野しょうぶ保育園
(病後児・休日)
堀切4-60-1
3601-2301



- ⑥ 中青戸保育園 (病後児・休日)
青戸3-8-8
病: 3603-3485
休: 3603-3454
- ⑦ 本田保育園 (病後児・休日)
立石1-4-10
病: 3692-0752
休: 3692-0736
- ⑧ こひつじ保育園
(訪問型病後児: ご自宅で
保育します)
東四つ木3-6-12
3694-5575

- ⑨ たつみ保育園 (病後児・休日)
西新小岩2-1-3
病: 5654-9942
休: 3696-9442
- ⑩ 新小岩わんぱくクリニック
(病児)
新小岩2-1-1 (3階)
6231-5512



ご不明な点は各施設に
お問い合わせください。

平成24年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	訪問型保育委託	重点評価 区分	—	担当部	子育て支援部
				担当課	子育て支援課

基本情報

1 事務事業の概要

開始年度	平成18年度	根拠法令	葛飾区私立保育園訪問型保育事業実施要綱
性質区分	サービス提供	実施形態	民間事業者との協働
対象者	区内在住で、0歳から就学前までのお子さん		
裁量区分	あり		
実施内容 (事務事業の実施 内容、手段、過去 の改善実績等)	<p>【概要】 病気回復期にある児童、保護者の疾病等により緊急一時的に保育に欠ける児童の自宅に保育士等が出向き、保育を実施する。</p> <p>【活動内容】 ①実施日 月～金（祝日、年末年始除く） ②利用時間 午前7時30分～午後6時 ③利用料 1人1時間800円 ④実施園 1園</p>		

2 施策及び事務事業意図

施策	名称	子育てする家庭への支援
	意図	子育てしている家庭が支援を受け、安心して子どもを育てている。
事務事業意図	保育園児等で、病気回復期にあるが集団保育になじまない児童、保護者の病気等により緊急一時的に保育に欠ける児童の自宅に保育士等が出向き、児童を保育することにより子育てと仕事の両立を図るとともに、児童の健全育成に資する。	

実績情報

1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
訪問延回数	—	回	目標	48	48	48
			実績	33	21	32
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
訪問延回数	—	回	目標	48	48	48
			実績	33	21	32
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	21年度	22年度	23年度
収入	特定財源				
	国庫支出金	千円	0	0	0
	都道府県支出金	千円	0	0	0
	その他	千円	0	0	0
	一般財源 (a)	千円	894	1,277	1,300
支出	直接事業費 (b)	千円	84	62	100
	委託料	千円	84	62	100
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		千円			
		職員人件費 (c)	千円	810	1,215
	人件費	千円	810	1,215	1,200
		人	0.10	0.15	0.15
	再雇用職員	千円	0	0	0
		人	0.00	0.00	0.00
	間接費 (d)	千円	0	0	0
	調整額 (e)	千円	70	105	135
	減価償却費	千円	0	0	0
	金利	千円	0	0	0
	退職給与引当	千円	70	105	135
	(控) コスト対象外	千円	0	0	0
	トータルコスト (f) (b+c+d+e)	千円	964	1,382	1,435

4 単位あたりコスト

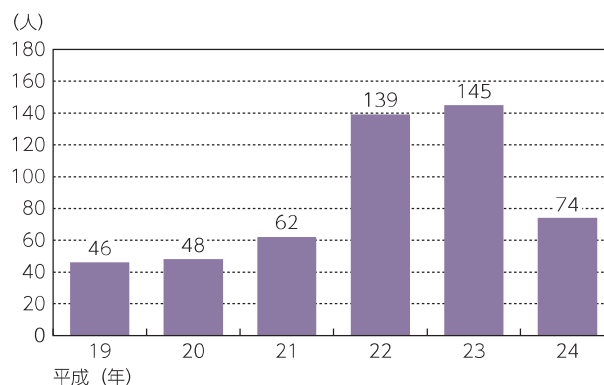
項目	単位	21年度	22年度	23年度
単位の定義		サービス提供回数（訪問延べ回数）		
実績数値 (g)	回	33	21	32
単位あたり区単コスト (a/g)	円	27,091	60,810	40,625
単位あたりコスト (f/g)	円	29,212	65,810	44,844

施策03 仕事と子育てを両立しやすい環境を整えます

【施策を取り巻く現状と課題】

- 景気の悪化やライフスタイルの変化に伴い、共働き家庭が増えており、保育サービスの利用児童数や学童保育クラブの入会児童数は高い水準で推移しています。
- 本区では、保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、これまでも計画を前倒して保育所の整備を進め、保育定員を増やしてきましたが、保育所の待機児童数は依然として高い水準で推移しています。
- 保護者の就労形態の多様化や、子どもの病気時の対応など、多様な保育需要への対応が求められています。
- 子ども・子育て関連3法が平成24年8月に制定され、子ども・子育てに関する新たな制度の実施方法等の詳細について、国で検討が行われています。

保育所待機児童数



出典：子育て支援課資料（各年4月1日現在）
注：国基準による待機児童数

【施策の方向】

- 保育需要を適切に見込み、認可保育所や認証保育所、認定こども園を計画的に整備するほか、家庭福祉員（保育ママ）などの保育資源を活かすことにより、待機児童の解消を図ります。
- 保護者の就労形態の多様化に対応するため、認可保育所等において延長保育の実施を拡充します。また、子どもの病気療養中などにおける保育需要に対応するため、病児保育の実施を拡充します。
- 放課後、保護者の就労などにより適切な監護が受けられない小学校低学年の児童を保育するため、需要に応じて、学童保育クラブを小学校内等に整備していきます。
- 子ども・子育てに関する新たな制度を踏まえ、施策を推進していきます。



保育所の様子



学童保育クラブの様子

【指標と目標値】

指 標	指標の説明又は出典	現 状 値 (平成23年度)	平成27年度	平成30年度	平成34年度
仕事と子育てが両立しやすい環境が整っていると 思う区民の割合 (%)	政策・施策マーケティング調査	32.6	35.4	37.5	40.0

【事業者の役割】

□ 妊娠中や子育て中の従業員にとって、育児休業や短時間勤務、短時間正社員制度、テレワーク、在宅就業、再雇用制度など、柔軟に働き方を選択できるしくみを整備しましょう。また、そのしくみを利用しやすいよう、職場の風土づくりを進めましょう。

【計画事業】

事業名	事業内容
保育所の設置	認可保育所や認証保育所、認定こども園の整備を計画する社会福祉法人等に対して、施設整備費の一部を助成します。
病児保育の設置	病気療養中の子どもを保育できる施設の整備を進めます。整備を計画する社会福祉法人等に対して、施設整備費の一部を助成します。
〈新〉 (仮称) 保育ママスペースの設置	家庭福祉員(保育ママ)によるグループ型保育を行うスペースの設置を進めます。
〈新〉 (仮称) 送迎保育ステーション試行事業	保護者の利便性向上や待機児童の地域的格差解消を図るため、駅周辺に、(仮称)送迎保育ステーションを整備します。ステーションでは、複数の保育園への送迎と保育所開所時間外の保育を実施するほか、日中の時間帯には、パートタイム勤務等の保護者の就労形態に対応した定期利用保育等を実施します。
学童保育クラブの設置	放課後、保護者の就労等により適切な監護が受けられない小学校低学年の児童を保育するため、需要に応じて、学童保育クラブを小学校内等に整備します。

〈事業一覧〉(平成24年度実施)

ファミリーサポートセンター運営委託	病児・病後児保育委託
学童保育事業運営	緊急一時保育運営委託
災害対策用備蓄品購入	訪問型保育委託
私立保育所施設整備費助成	私立学童保育事業費助成
私立保育所運営助成	私立保育所非常通報装置設置費助成
認証保育所運営費助成	保育園管理運営
家庭福祉員運営委託	